



# キュー Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー



## 野生のキノコを食べてしまったら

**Qちゃん** 先生、大変だよ。うちのおじいちゃんが近くの山から採ってきたキノコを何も測らないで食べちゃったんだ。野生のキノコは放射性物質の測定をしてから食べるようになって、先生この前言ってたよね。おじいちゃん、大丈夫かなあ。

**つぼくら先生** Qちゃん、落ち着いて。確かに野生のキノコは放射性物質を検出しやすいから、食べるのを控えたり、もし食べるならその前に放射性物質の測定をするように言われているよ。ただ、放射線が体に与える影響は放射線が「ある」か「ない」かじゃなくて、被ばくする「量」が問題になってくるんだ。野生のキノコを何回か食べたからって、健康に影響を及ぼすようなことは考えられないよ。

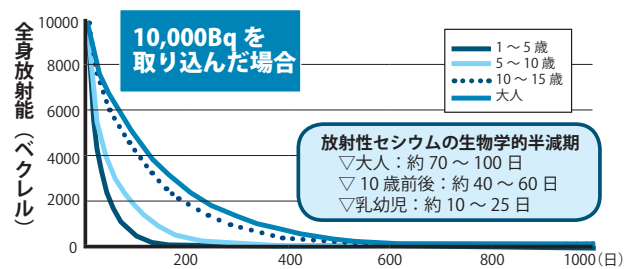
例えば、食品基準値が1キログラム当たり100ベクレルのものを50グラム食べたときの内部被ばく量を計算すると0.000065ミリシーベルトになるんだけど、年間で自然から受ける被ばく量は2.1ミリシーベルトだからとても小さい値だね。

**Qちゃん** うん。ちょっと難しいけど、ほんの少しだってことは分かったよ。ところで、体の中に入った放射性物質ってどうなるの？

**つぼくら先生** 原発事故で拡散されて、現在私たちの周りにある放射性物質の99%以上は放射性セシウムだから、セシウムについて説明するね。体内に取り込まれたセシウムは、ほぼ全身に広がって、代謝によって体の外に排出されるよ。どこか特定の臓器に溜まって、そこで影響を与えることはないんだ。

ちなみに下の図のように、年齢が若い人ほど、体内に取り込まれた放射性セシウムの排出が早いことが分かっているよ。

ただ、放射性セシウムを多く含むものを毎日食べ続けるのは、考えものだね。出荷制限されている食べ物は食べるのを控えるか、きちんと放射性物質の測定を行ってから食べるように、次からは気をつけようね。



若年のほうが代謝が早い



初期被ばく量測定は  
▽大人でも1年程度が限界  
▽子どもは半年程度まで

**Qちゃん** 先生、ありがとう。おじいちゃんにもちゃんと守るように言っておくよ。

出典：環境省・放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（令和2年度版）

### 今回Qちゃんが分かったこと

▽放射線が体に与える影響は放射線が「ある」か「ない」かではなく、被ばくする「量」が問題であること。

▽体内に取り込まれた放射性セシウムは代謝で体外に出るため、特定の臓器などに影響しないこと。

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37 2 2 7 0)

ホームページはこちらから



◎これまでの食品の検査結果 (市ホームページ)

ホームページはこちらから



※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

●9月分 ▼測定件数 10件

(内訳：野菜7件、果物3件)

▼基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品 (10月1日現在)

▽クサソテツ (コゴミ)

▽タケノコ▽フキノトウ (野生)

▽ゼンマイ▽タラノメ (野生)

▽原木シイタケ (露地)

▽原木ナメコ (露地) ▼キノコ (野生)

▽コシアブラ▽ウド (野生) ▼クロソイ

※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。